教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
					講義	演習	実習	その他
商業	ビジネス基礎	2	専3	必修	○	○		

教材費・準備物等	進路・資格・興味・関心など
教科書、副教材、電卓 検定受験料、模擬問題集購入代金	ビジネスに関する知識と世の中の新しいトピックを関連付け、経済社会を考えていく時間の授業です。

科目概要	第1章商業の学習とビジネス 第2章ビジネスとコミュニケーション 第3章経済と流通 第4章ビジネスと売買取引 第5章企業の活動 第6章身近な地域のビジネス	評価観点	知識技能	経済社会における事例など実際のビジネスと関連付けながら，さまざまな場面で役立つビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。
			思考判断表現	ビジネスをはじめとしたさまざまな知識・技能などを活用し，ビジネスに関する課題を発見するとともに，企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ，市場の動向，ビジネスに関する理論，データ，成功事例など科学的な根拠に基づいてよりよく解決する力を身に付けている。
			主体的態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち，他者と信頼関係を構築して積極的にかかわり，ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組んでいる。
		評価方法	単元ごとの小テスト、授業時でのワークシート、提出物などにより評価を行う。	
前年度履修すべき科目	なし			
継続で履修すべき科目	なし			

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
					講義	演習	実習	その他
商業	情報処理	3	専３	選択	○	○		

教材費・準備物等	進路・資格・興味・関心など
教科書　商業７１６「情報処理」	日本情報処理検定協会主催の検定 全国商業高等学校協会主催の検定

科目概要	商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	評価観点	知識技能	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。
			思考判断表現	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。
			主体的態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び，企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
		評価方法	練習問題の完成度 練習問題への取り組み 練習問題への取り組み姿勢	
前年度履修すべき科目	なし			
継続で履修すべき科目	なし			

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業	IT管理	4	専3	選択	講義	演習	実習	その他
					○	○		

教材費・準備物等	進路・資格・興味・関心など
副教材、ノート、ファイル	ITパスポート

科目概要	(1)ハードウェア[テクノロジ系] (2)ソフトウェア[テクノロジ系] (3)システム構成[テクノロジ系] (4)ネットワーク[テクノロジ系] (5)セキュリティ[テクノロジ系] (6)企業活動と法務[ストラテジ系] (7)経営戦略とシステム戦略[ストラテジ系] (8)マネジメント[マネジメント系]	評価観点	知識技能：IT管理に関する基礎理論や構造、企業活動や経営戦略との関係を理解し、ITパスポート試験に対応できる基礎知識と技能を身につけている。
			思考判断表現：システム構成やネットワーク、法務や戦略などの内容について、自らの考察を通じて問題解決に必要な判断を行い、適切に表現できる。
			主体的態度：IT管理の知識習得に積極的に取り組み、資格試験への挑戦や授業内容を日常や将来に活かそうとする意欲的な姿勢が見られる。
		評価方法	授業態度　分野小テスト　提出物
前年度履修すべき科目	なし		
継続で履修すべき科目	なし		

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業	簿記	3	専修3	選択	講義	演習	実習	その他
					○	○		

教材費・準備物等	進路・資格・興味・関心など
教科書、副教材、電卓 検定受験料、模擬問題集購入代金	全国商業高等学校協会簿記実務検定３級、日本商工会議所簿記検定３級

科目概要	１．簿記の基礎 　意味・要素・取引・勘定 　仕訳と転記 ２．期中取引 　取引の記帳 ３．決算 　意味と手続き 　決算整理仕訳と財務諸表の作成 ４．株式会社会計 　設立と開業 　剰余金処分に関する記帳 　税金に関する記帳 ５．証ひょうと伝票 　仕訳伝票と３伝票 　集計と転記	評価観点	知識技能：株式会社における簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、簿記の基本的な仕組みについて理解している。
			思考判断表現：様々な処理法・記帳法について、自ら思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。
			主体的態度：株式会社における簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指し、ビジネスの諸活動を計数的に把握する実践的な態度を身につけている。
		評価方法	授業内考査・小テストの成績・課題の提出・学習活動・授業中態度・出席状況を総合して評価する。
前年度履修すべき科目	なし		
継続で履修すべき科目	なし		

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
					講義	演習	実習	その他
商業	財務会計Ⅰ	3	専修３	選択	○	○		

教材費・準備物等	進路・資格・興味・関心など
教科書、副教材、電卓 検定受験料、模擬問題集購入代金	全国商業高等学校協会簿記実務検定２級、日本商工会議所簿記検定２級

科目概要	１．財務会計の基礎 企業と企業会計 企業会計制度と会計基準 ２．資産・負債・純資産 分類と評価 ３．損益計算 意味と分類 ４．財務諸表の作成 貸借対照表の作成 損益計算書の作成 株主資本変動計算書の作成 ５．財務諸表の分析と活用 分析の意味と活用 ６．連結財務諸表の作成 投資と資本の相殺消去 連結決算手続き	評価観点	知識技能：財務会計に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身についている。
			思考判断表現：会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、財務会計に関する理論、企業の実態を総合的に分析する力が身についている。
			主体的態度：会計責任を果たす力の向上を目指し、適切な会計処理、財務諸表の作成と分析による会計情報の提供と効果的な活用に取り組む態度を身につけている。
		評価方法	授業内考査・小テストの成績・課題の提出・学習活動・授業中態度・出席状況を総合して評価する。
前年度履修すべき科目	なし		
継続で履修すべき科目	なし		

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
					講義	演習	実習	その他
商業	簿記（上級コース）	3	専修3	選択	○	○		

教材費・準備物等	進路・資格・興味・関心など
教科書、副教材、電卓	日商簿記検定２級の取得を目指す

科目概要	1 企業の簿記 2 簿記の要素 3 取引と勘定 4 仕訳と転記 5 現金・預金の記帳 6 商品売買の記帳 7 掛け取引の記帳 8 固定資産の記帳 9 手形取引の記帳 10 販売費及び一般管理費の記帳 11 決算 12 本支店の取引と財務諸表の合併 13 株式会社設立と開業の記帳 14 剰余金の処分に関する記帳 15 株式会社の税金の記帳	評価観点	知識技能：株式会社における簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指し、ビジネスの諸活動を計数的に把握する実践的な態度を身につけている。
			思考判断表現：様々な処理法や記帳法について、自ら思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。
			主体的態度：株式会社における簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に処理するとともに、その成果を適切に表現できる。
		評価方法	提出物、既習事項小テスト、授業への取り組み等
前年度履修すべき科目	なし		
継続で履修すべき科目	なし		

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業	財務会計Ⅰ（上級コース）	3	専修3	選択	講義	演習	実習	その他
					○	○		

教材費・準備物等	進路・資格・興味・関心など
教科書、副教材、電卓	日商簿記検定２級の取得を目指す

科目概要	第１編　財務会計の基礎 第２編　資産 第３編　負債と純資産 第４編　損益計算 第５編　財務諸表の作成 第６編　財務諸表の活用 総合演習	評価観点	知識技能：財務会計に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連づけられ、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身についている
			思考判断表現：会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、財務会計に関する理論、企業活動の流れなどを理解し、企業の実態を総合的に分析する力が身についている。
			主体的態度：会計責任を果たす力の向上を目指して適正な会計処理、財務諸表の作成と分析などによる会計情報の提供と効果的な活用に責任をもって取り組む態度が身についている。
		評価方法	提出物、既習事項小テスト、授業への取り組み等
前年度履修すべき科目	なし		
継続で履修すべき科目	なし		

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業	原価計算	4	専修3	選択	講義	演習	実習	その他
					○	○		

教材費・準備物等	進路・資格・興味・関心など
教科書、副教材、電卓	日商簿記検定２級の取得を目指す

科目概要	第１編　原価計算の基礎 第２編　原価の費目別計算 第３編　原価の部門別計算と製品別計算 第４編　製品の完成・販売と決算 第５編　標準原価計算の基礎 第６編　直接原価計算の基礎 総合演習	評価観点	知識技能：原価計算に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連づけられ、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ実務に即した知識と技術が身についている
			思考判断表現：原価管理が社会に及ぼす影響を踏まえ、財務会計に関する理論、企業活動の流れなどを理解し、企業の実態を総合的に分析する力が身についている。
			主体的態度：管理会計のしくみを活かして適正な会計処理、分析などによる原価情報の提供と効果的な活用に責任をもって取り組む態度が身についている。
		評価方法	提出物、既習事項小テスト、授業への取り組み等
前年度履修すべき科目	なし		
継続で履修すべき科目	なし		

<table>
<tr><th>教科</th><th colspan="2">科目</th><th>単位数</th><th>開講学年</th><th>必修/選択</th><th colspan="4">授業形態</th></tr>
<tr><td rowspan="2">商業</td><td colspan="2" rowspan="2">社会保障と保険（初級）</td><td rowspan="2">前期2
後期2</td><td rowspan="2">専3・4</td><td rowspan="2">選択</td><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>その他</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">教材費・準備物等</td><td colspan="5">進路・資格・興味・関心など</td></tr>
<tr><td colspan="4">副教材、電卓
検定受験料、模擬問題集購入代金</td><td colspan="5">ファイナンシャル・プランニング技能検定３級（日本ＦＰ協会）取得</td></tr>
<tr><td rowspan="3">科目概要</td><td colspan="3" rowspan="3">1　ライフプランニング（3級分野）
2　リスクマネジメント（3級分野）
3　金融資産運用（3級分野）
4　タックスプラニング（3級分野）
5　不動産（3級分野）
6　相続・事業承継（3級分野）
7　検定対策演習
8　ライフプラニング（2級分野）
9　リスクマネジメント（2級分野）
10　金融資産運用（2級分野）</td><td rowspan="3">評価観点</td><td>知識技能</td><td colspan="4">ＦＰに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、ライフプランを助言できる知識・技能を理解している。</td></tr>
<tr><td>思考判断表現</td><td colspan="4">各種の計算・分析方法の活用について、なぜ、そのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけている。</td></tr>
<tr><td>主体的態度</td><td colspan="4">ＦＰに関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、そこから得られる情報を活用する態度を身につけている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">前年度履修すべき科目</td><td>なし</td><td rowspan="2">評価方法</td><td colspan="5" rowspan="2">単元ごとの小テスト、授業時でのワークシート、提出物などにより評価を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">継続で履修すべき科目</td><td>なし</td></tr>
</table>